

自立活動「世界の手話 数字」学習指導略案

1 対象

小学生（高学年）

2 指導の形態

インターネット（YouTube 使用）環境がある教室

3 指導の目的

- 1) 数字の手話表現は国々によって異なることを知る
- 2) 自分の言語以外の言語に興味を持たせる
- 3) 書記体の数字は基本的に同じだが、手話表現は国によって違うことを知る

4 指導にあたって

- ・事前に YouTube「Sign language counting systems from around the world」、
SIL(Summer Institute of Linguistics)ホームページに目を通しておくと、より指導がスムーズになる

5 本時の展開

過程	学習活動	指導・支援内容（留意事項及び配慮事項）	評価の観点
導入	世界の手話はいくつあるか理解する（10 分）	スライド P.2 を出して、 ・ 世界の手話の数、世界の国の数を想像させる スライド P.3 を出して ・ 世界の国の数を理解させて、手話の数をイメージさせる ※国連加盟国数と日本政府承認国家数の違いがあるので外務省ホームページを参照する スライド P.4 を出して ・ 世界の手話の数を理解させる	世界の手話の数、国の数について理解できているか【関心】
展開	世界の手話「数字」の動画を視聴する（5 分）	スライド P.5 を出して ※動画視聴 『世界の手話「数字」』（1 分 29 秒）	国によって数字表現がちがうことを理解できているか【関心】
	世界の手話「数字」の動画を視聴して、国によって表現がちがうことを理解する（25 分）	スライド P.6 を出して 動画に出ていたそれぞれの国を再確認する 『世界の手話「数字」』 「トルコ手話」 [00:00～00:10] 「メキシコ手話」 [00:11～00:20] 「日本手話」 [00:21～00:31] 「宮窪手話：地域共有手話」 [00:32～00:40] 「ウガンダ手話」 [00:41～01:55] 「ワンダル手話」 [00:56～01:06] 「エチオピア手話」 [01:07～01:17]	

ま と め	ワークシートに記入する (10 分)	「ニカラグア手話」 [01:18～01:29] 実際、表現して見る時間も与える スライド P. 7 を出して 国はどこにあるか再確認する スライド P. 8 を出して 宮窪手話は日本手話と違い、地域共有手話で あることを説明する スライドを用いて要点を整理、確認する	要点を理解し自分の 考えをまとめられて いるか【ワークシ ート】
-------------	-----------------------	---	---

6 参考・引用文献または Web サイト

- ・ 動画：[Sign language counting systems from around the world](https://www.youtube.com/watch?v=...)
- ・ Web：SIL, <https://www.sil.org/>
- ・ Web：Ethnologue, <https://www.ethnologue.com/subgroups/sign-language>
- ・ Web：外務省, [外務省 国・地域](https://www.mof.go.jp/...)
- ・ 矢野羽衣子、松岡和美. 「愛媛県大島宮窪地区の村落手話（地域共有手話）における二種類のタイムライン」, 第 155 回日本言語学会ポスター発表, 2017.

作成：矢野 羽衣子（2018 年）

編集：ろう者学教育コンテンツ開発取組担当